

	岡山大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：115 第2年次：5） ※医学科を記載。 医歯薬学総合研究科（M：20 D：138）
沿革・設置目的	医学に関する教育・研究を行うことを目的に、岡山県医学校、第三高等学校中学校医学部、岡山医学専門学校、官立岡山医科大学を経て、昭和26年（1951年）岡山大学医学部として設置された。 昭和24年（1949年）岡山大学設置と同時に理学部に第二類（医学進学コース）を設置 <u>昭和26年（1951年）岡山大学医学部設置</u> 昭和30年（1955年）大学院医学研究科設置（平成17年（2005年）に医歯薬学総合研究科に改組） 平成16年（2004年）国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山大学の理念等に基づき、高度な知の創生を担う力を持ち、社会から信頼される優れた医学研究者・医師の養成を積極的に推進し、地域社会のみならず、国際社会への貢献に邁進する。特に、学部から大学院・卒後臨床研修を包摂したプログラムによる研究医育成や、岡山県を始めとする中国・四国地方等の地域医療を担う医師の養成等幅広い病院ネットワークを生かした人材育成を総合的に推進する。 ○ 腫瘍免疫学や移植医療に関する研究をはじめとする、基礎医学・臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 臨床研究中核病院として、国際水準の質の高い臨床研究や難病等の医師主導治験を推進するための中心的な役割を果たし、日本の医療水準の向上及び日本発の医療イノベーション創出を目指す。 ○ 心臓血管外科手術や移植医療の実績を活かし、高度・先進的な医療を積極的に展開する。 ○ 特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、第一種感染症指定医療機関等としての取組を通じて、岡山県における地域医療の中核的役割を担う。